戦後・被爆80年

2025年3・1ビキニデー集会
核兵器のない世界へ　転換の年に

戦後・被爆80年の歴史的節目となる3・1ビキニデーが2月27日～3月1日に静岡市、焼津市で開かれました。3日間の全国集会にはのべ3000人がつどい、核兵器のない世界をめざすとりくみを広げる交流・連帯の場となりました。

隠蔽され続けた71年

1954年3月1日、アメリカが太平洋ビキニ環礁でおこなった水爆実験は、広島に投下された原爆の1000倍の威力でした。広大な海域を汚染し、マーシャル諸島の人びとや静岡・焼津のマグロ漁船「第五福竜丸」をはじめ、多くの漁船などが被災しました。

しかし71年たった今も、被害の全容解明も救済も全く不十分なままです。

各地の運動交流では、高知で現在、ビキニ被災船員訴訟として二つの裁判にとりくむなど、被災者、市民のたたかいが報告されました。

原水爆禁止世界大会実行委員会運営委員会共同代表の野口邦和さんは、核兵器開発（核抑止力の維持）は、核保有国にとって「最優先事項」であり「最高度の軍事機密」のもとに置かれるため、被害などは隠蔽・放置されるのだと指摘。そして、日本政府もアメリカの圧力に屈して「政治決着」し、被害の解明と被害者救済の責任を放棄してきたときびしく批判しました。

被災71年3・1ビキニデー
おもな日程
2月27日　日本原水協全国集会
　国際交流会議
28日　全体集会・分科会
3月1日　久保山愛吉墓参行進・墓前祭
　3・1ビキニデー集会

地域から共同を広げて

昨年のビキニデーからスタートした、日本原水協がよびかける非核日本キャンペーン。日本被団協のノーベル平和賞受賞が各地で大きなインパクトを与え、新しい展開やとりくみが次つぎと発言されました。

山梨県では、原爆展を開催したことがなかった甲斐市で、新婦人がノーベル平和賞に触れて申し入れをおこない、市の非核平和事業として市役所などの共施設で原爆パネル高校生に見てもらいたいと15の高校を訪問し、日本被団協のノーベル平和賞受賞後に実現。原爆展をより身近な場所でと、すべての支部、班でとりくみをすすめ、共同を広げる力になっています。

日本原水協の代表団が1月に訪問したスペイン、フランスの各地で、日本被団協の田中重光さんが被爆体験を語ったことも報告されました。どこでも市民をはじめ、首長、国会議員が参加し、メディアにもとりあげられるなど、被爆者の証言は世界も注目しています。

▲第五福竜丸乗組員久保山愛吉さんのお墓のある弘徳院まで墓参行進

墓前祭であいさつする新婦人の米山淳子会長

新婦人福井県本部の発言に全国から参加した会員たちもタペストリーを持って登壇（28日日本原水協全国集会で）

各国の市民運動と連帯して

国連憲章違反の核大国、ロシアによるウクライナ侵略は4年目に。ガザでの殺りくを続けるイスラエルに肩入れするアメリカでは、トランプ氏が再び大統領に。自国第一主義をかかげて世界に分断と混乱を引き起こしている情勢のもとで、アメリカと韓国の代表が参加しました。

3・1ビキニデー集会に参加した海外代表。右から韓国のイ・ジュンキュさん、ハム・ジェキュさん、ひとりおいてアメリカのジョゼフ・ガーソンさん

アメリカのジョゼフ・ガーソンさん（平和・軍縮・共通安全保障キャンペーン議長）は、トランプ大統領の脅威と億万長者たちが、自らの資産を増やすためにワシントンを掌握し、「憲法の危機」がすすむ中でのとりくみを報告。そうした中でも、米議会の核兵器反対派の議員たちが、8月に広島で開催される80周年記念行事に参加する予定をしている。被爆者や、多くの運動の不屈の精神に励まされて乗り越えたいと訴えました。

韓国のハム・ジェキュさん（全国民主労働組合総連盟副委員長）は、昨年12月に非常戒厳を宣布したユン・ソンニョル大統領が任当初から労働組合を激しく弾圧し、民主労総は市民とともに退陣を要求するたたかいの先頭に立ってきたと発言。また、組合としても「戦争と核兵器の脅威に対抗して恒久的な世界平和を実現する」ことを掲げている、力による平和は存在してはならないと強調しました。

同じく韓国のイ・ジュンキュさん（フォーラム平和共感研究員）は、非核化は核の脅威から私たちを自由にするもの、韓日の市民の連帯をいっそう前進させようと呼びかけました。

日本こそ禁止条約に参加を

唯一の戦争被爆国でありながら、石破政権はアメリカの「核抑止力」に依存して、核兵器禁止条約第3回締約国会議へのオブザーバー参加さえ拒否しました。

ビキニデー集会は「核兵器廃絶へと動かすカギを握っているのは日本」、禁止条約に参加し、世界をリードできるよう非核日本キャンペーンで署名や被爆の実相を広げ、8月の世界大会を成功させようと呼びかけました。

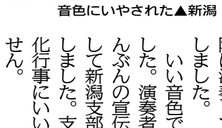
ジェンダーリレー講座〈135〉

国連女性差別撤廃委員会（CEDAW）の勧告生かして③

全国労働組合総連合・女性部事務局長　寺園通江（みちえ）

全国労働組合総連合女性部は、8年ぶり6回目の国連女性差別撤廃委員会（CEDAW）日本報告審議に向け、「私が私らしく生きていくために　国連女性差別撤廃条約の完全実施を」と題した国連女性差別撤廃条約に関する学習とカンパのお願いを兼ねたリーフレットを作成しました。

レポート作成にあたっては、雇用分野に関するレポートを日本婦人団体連合会、日本女性差別撤廃条約NGOネットワークに加盟する3団体と共同で2年間かけて作成しました。委員から「みなさんのレポートを読み込んでいる」と言われた際、労働組合を代表して参加している責任の重みを感じました。


委員に直接訴える寺園さん（右から2人目／昨年10月、ジュネーブ）

ロビイング活動では、全労働者の4割が不安定雇用であること、労基法・均等法で性差別をしてはならないとあるが、正規非正規ともに、女性は大きな賃金格差や差別があること、ILO（国際労働機関）の「仕事の世界における暴力及びハラスメントの撤廃に関する」第190号条約批准を政府に強く求めていることを委員に直接訴え、全労連版レポートを配布しました。

審議では、非正規課題・賃金格差、AGC法を改正して間接差別禁止事由を広げる、家事労働者に関する189号条約を批准する実現アクション共同代表）を講師にした総括所見に関する学習会と合わせ、YouTube視聴者を地・各組織の会議・学習会で広げ、CEDAWについて新聞・ニュース等で発信。差別のない社会の実現のために、積極的に運動を展開していきます。

審議に合わせて、ILO第190号条約批准を求めるための請願署名を2月中旬から開始。キックオフ集会では、角田由紀子弁護士を講師にハラスメント根絶への学習会と4人の決意表明、議員要請を行いました。

昨年12月の春闘討論集会で行った浅倉むつ子さん（女性差別撤廃グリーンテックなどの裁判事例の他、追加資料で提出した国内人権機関がないことも追及されました。そしてこれらがすべて勧告に反映されたのです。同一価値労働同一賃金の効果的な実施、女性の正規雇用を増やす、均等の決意表明、議員要請を行いました。

集会で行った浅倉むつ子さん（女性差別撤廃条約実現アクション共同代表）を講師にした総括所見に関する学習会と4人の決意表明、議員要請を行いました。

性活躍推進法改定案」

ホットライン

編集部メールアドレス　s-press@shinfujin.gr.jp

岐阜　木戸季市（すえいち）さんを囲む会

【岐阜支部つみ木班　大野亨子】2月9日、班主催で、「日本被団協事務局長　木戸季市さんを囲む会」を開きました。囲む会に向け、チラシを4000枚、新婦人岐阜支部の全読者に配りました。地域の「9条の会」にも呼びかけてもらい、新聞社を訪ね取材要請。直前に地域の中学校で木戸さんの記念講演会が開かれ、市内全中学校にオンラインで配信されました。講演後、記念にオリーブの木を中学生と一緒に植樹されたことが報道されました。当日は、予想をはるかに超えた150人の参加で、資料が足りない一幕も。

木戸さんは、5歳の時に長崎市内で被爆。岐阜聖徳学園で職を得て、以降岐阜市に在住。とても身近な方です。講演では、被爆者で家族に看取られて最期を迎えた人は4％。何年続くか分からない人類への放射能の影響、被爆者の明暗を分けた3つの条件①食べ物②寝る場所③医療と、環境の差が大きく生存に影響したことも話されました。最後に、「原爆は悪魔の兵器。絶対許してはいけない！」と強く訴えました。「次の世代にどのように継承していくか？」との質問には、憲法97条を挙げて、「人任せではなく、個々人の不断の努力、自身の生き方を通して訴えよう！」とキッパリ言われ参加者の心に響きました。

初めて被爆体験を聞く人も▲岐阜

岡山　バレンタイン　平和の波行動

【倉敷支部　里見幸恵】2月14日、倉敷駅デッキにて、「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」行動をしました。風が冷たい日でしたが、11署名の協力がありました。署名した人に会員作製〝キャンデー〟が入った折り鶴〟をバレンタインプレゼント。

キャンデー入り折り鶴をプレゼント▲岡山

北海道　冬まつり、自衛隊の展示中止を

【札幌厚別支部　原田眞美子】2月8～9日に開かれる「新さっぽろ冬まつり」に、自衛隊の車両やブースでの展示を中止してください、との要請文を2月3日、6人で担当の区役所に届けました。

昨年も、同じように届けたのですが、「戦争を想起させるものではない」「子どもや地域の人たちが楽しみにしている」などの理由で展示されました。

自衛隊の役割を説明することもなく子どもの遊びの延長の中で自衛隊を広めようとしていることに危惧を感じています。

6人で医役所へ▲北海道

千葉　会員宅で鍋パーティー

【県直ふっつ班】1月の班会議は、会員のお宅で、鍋パーティーでした。昨年、久びさに入会者を迎え、その方が甘酒酵母の手づくりパンを焼いてきてくれて、とてもおいしかったです。今年も、楽しい班会議で、みんなでおしゃべりしたいです。

手づくりパンも／▲千葉

福岡　班会で紙面を読み合わせ

【門司支部　吉坂由里子】2月26日、子ひつじ班の班会を開きました。支部長の林さんも参加して4人の参加です。

各自の近況など話し、新婦人しんぶん3月1日号5面「農業と日本国憲法」を学習しました。

農家女性は「角のない牛」であると初めて聞く言葉に驚きました。農家の女性の地位の低さに驚かされます。「農家女性は角をだし、さらなる人権の獲得に向けて突き進みましょう。自分のために未来のために」と書かれています。さすが新婦人しんぶんですね。

1時間半ほどでしたが、各自の特技もわかりました。スマホで春の歌を出して、みんなで歌いました。

久しぶりの班会、開けてよかった！

音色にいやされた▲新潟

新潟　ハンドパン演奏体験会

【新潟支部仲良班】「ハンドパン」って知っていますか？　ステンレスの丸いものにいくつか丸い突起があって、軽くたたくと何とも言えない音が響きます。歴史の浅い楽器だそうです。

今月の班会は「ハンドパン」の演奏会でした。他班の会員も参加し、実際に演奏してみる体験もしました。

いい音色でいやされました。演奏者に新婦人しんぶんの宣伝紙をお渡しして新潟支部の活動も話しました。支部大会の文化行事にいいかもしれません。

各自の特技もわかった▲福岡

満開のロウバイと梅の下で▲群馬

群馬　お花見ハイキング

【沼田支部　高橋芳子】2010年から、ほぼ月1回実施しているハイキング小組ですが、読者が「ハイキングに参加したい」と、2月23日「群馬フラワーハイランド安中」お花見ハイキングに参加。園内は黄色のロウバイとピンクの紅梅が満開で、感激したとの感想でした。

支部では4つの小組が楽しく活動していますが、要求にかなう小組を増やして仲間増やしのきっかけを作っていきたいと思っています。